

スクールガード隊の方々に守られて

白山市立河内小学校 一双 紗彩

私は毎日、朝も帰りも、スクールガード隊の方々がいるおかげで、安全に元気に登校することができます。スクールガード隊の方がいないと、交通事故がおきそうな場所で車を止めてくれる人がいないので、交通事故がおきているかもしれません。毎日見守ってくださりありがとうございます。

私たちが学童に帰るときには、いつも学童の先生が横断歩道の前にいてくださるので、安全に帰れます。学童の先生の顔を見るとホッとします。

去年までは、登下校の時、6年生がいたので安心して登校していましたが、今年は私が一番年上なので、みんなが安全に登校できるようにしないとなぁと責任を感じています。そのため、歩くときはみんなでまとまって、一年生のペースを考えながら、間をあけずに並んで歩くように声をかけています。

先日、私はうれしかったことがありました。私が押しボタン式信号のある横断歩道を渡ろうとしたとき、車は信号が青なのに止まってくれたのです。そんな時私は、毎回「ありがとうございます。」と言って、頭を下げます。自分のために止まってくださるのがありがたいと思います。私も大人になって車を運転するようになったら、横断歩道で子どもや高れい者が渡ろうとする姿を見たときには、しっかりと止まってあげたいと思います。このような思いを運転する人たちが持つことができれば、交通事故が減り、みんなが安全に過ごせる社会になると思います。

誰一人として白山市の小学生が事故で亡くならないように、気をつけて登校したり、遊びに行ったりしたいです。これからも安全に登校するために、横断歩道を渡る時は、右・左を見て、自転車に乗るときはヘルメットを絶対にかぶって命を大切にしていきたいです。